

市営渡船ひめしまの新船就航について

■ 概要

市営渡船ひめしまは、平成10年の建造から17年を経過し、経年による船体及び機関の老朽化が進んでいたため、平成26年度に設計し、平成27年度に新船の建造を実施しました。

新船は船内のバリアフリー化、球状船首（バルバス・バウ）と減揺装置の装備による推進性と快適性の向上、省エネ型ターボチャージャーエンジン搭載により燃費を向上させています。船体の色デザインは九州大学大学院芸術工学研究院の尾方義人准教授に依頼しました。

なお、平成28年3月2日から就航の予定です。

■ 建造の経緯

- 平成27年4月28日 入札 落札者：佐賀県唐津市二夕子3丁目214-1 (有)江藤造船所
落札額：190,836,000円（税込）
- 平成27年8月8日 起工式
場 所：(有)江藤造船所
- 平成28年2月12日 進水式
場 所：(有)江藤造船所

■ 新船の概要

- 全長 21.5m
- 幅 5.00m
- 船質 軽合金(アルミ)
- 総トン数 35トン
- 速力 16kt
- 定員 80名(旅客定員76名 乗組員4名)

■ 新船就航記念式典

- 期 日 平成28年3月2日 10時30分開式
- 場 所 岐志漁港 市営渡船乗船場前
- 内 容 記念式典と新船見学会

渡船運航時刻表	便	姫島発	岐志発
	第1便	7:00	7:50
	第2便	9:50	11:50
	第3便	14:20	16:00
	第4便	17:10	18:10



建造事業者 有限会社江藤造船所
設計者 有限会社三愛船舶設計

【問い合わせ先】

企画部 地域振興課 公共交通係

TEL : 323-1111 (内線1321)
332-2062 (直通)

新船と現船の比較

	新 船	現 船
長さ	全長 21.50m	全長 21.00m
幅	5.00m	5.00m
総トン数	35トン	39トン
船質	軽合金(アルミ) 法定耐用年数 9 年	強化プラスチック(FRP) 法定耐用年数 7 年
巡航速力	16kt	16kt
主機関	435kw 2 基	367.8kw 2 基
定員	80 名 (旅客定員 76 名 乗組員 4 名)	94 名 (旅客定員 90 名 乗組員 4 名)
客室配置	前部客席 44 席	前部客席 54 席
	後部客席 24 席 ソファベッド席(6) 中央客室席(2) バリアフリー席(5) 座席 2 箇所(11) 車椅子スペース(1) (注)車椅子スペースは客席数に計上しない	後部客席 26 席 座席 2 箇所(25) 車椅子スペース(1)
	後部デッキ席 8 席 ベンチ席(8)	後部デッキ 10 席 ベンチ席(6) 立ち席 (4)
乗降口	観音開き式	スライド式
その他の装備	バルバス・バウ 有り	バルバス・バウ 無し
	減揺装置 有り	減揺装置 無し

(注 1) バリアフリー客席と車椅子席については、国のバリアフリーガイドラインに基づき、バリアフリー客席は旅客定員 25 人ごとに 1 席以上、車椅子席は旅客定員 100 人ごとに 1 席以上設けなければならないことになっている。

(注 2) バルバス・バウは、航行時の造波抵抗を打ち消すための船首構造。球状船首という。

(注 3) 減揺装置は、船底に取り付け波の形状をコンピューターで予測し船を安定化させるスタビライザーの役割である。

糸島市市営渡船「ひめしま」新船 色彩設計の概要

九州大学大学院芸術工学研究院 准教授 尾方義人

コンセプト

島民・市民が日常的に使う時々の自然なデザイン。また、20年後も褪せることなくまた日常感のあるデザイン。さらに、利用者はもちろん島外・糸島市の人々が、県内の他の公営渡船と比べても誇りに思えるようなデザイン。そして糸島市としてのオリジナリティが出せるようなデザインを考える。をコンセプトとしました。

色彩

糸島市のハマボウの黄色や市章の黄色・赤・青は、それぞれの機能と意味を持った色です。本船の色彩は、それとは別に船として、また風景としてどう存在させるかを考え、糸島・姫島の山並みの緑・海並みの青・町並みの茶 それぞれに映える色を風景から分析し、抽出した色が、赤みのつよい茶色（一般的に臙脂（えんじ）や栗梅（くりうめ）と言われる色に近いもの マンセル値は5R2/6）でした。この色を仮に、姫島褐色（かちいろ）と名づけました。濃い茶色は褐色とよばれますが、昔は「かちいろ」と呼ばれました。中世では「かちいろ」は昔深い青色のことを指していました。歴史的な変遷で色は変わっていきましたが、深い青（深く染み入る糸島の海の色）の意味を内包する色です。「褐＝かち＝勝ち」という意味もふくめて、漁業・農業を中心と産業が広がりゆくこともひめています。

形態

基本的な3つのラインは、糸島市の「過去・現在・未来」をあらわし、船体の形を強調しながら、進みゆくスピード感や軽快感を表しています。また、最も特徴的な船首の大きな波型の形状は海や山や町に自然に重なる形状を幾何的に抽出しました。特に側面から見た時の色の重量感にも配慮しスピード感を与えながら、安定した安心感も出るバランスとしています。

このような構成はこれまでの船のデザインではあまり見られませんが、正面やすこし斜めから見た印象は新鮮さを与えながら、奇抜でない突飛でない形として、糸島市の歴史的な文化や質実で易しい土地柄としての気持ちを込めています。

船名書体

船名「ひめしま」の文字は、“ヒラギノ明朝”を基本に端部のディテールを再設計し、視認性の向上を図りながらより上品さや堅実さをはかりました。英文字は、厳肅、偉大、堅実なイメージがある“Trajan”を利用し 充実感をますために文字間を広くとり構成しました。